原っ子

学校だより No.27（通算70号）
令和５年１０月１３日
小郡市立大原小学校
校長 山本貴澄　Tel 72-5500

今年度の重点目標「学び合い 助け合い やり遂げる集団づくり」
合言葉「チャレンジ！ みんなでまなぶ やりとげる」

【生活のめあての発表】

後期スタート！まずは、原っ子運動会から！！

後期がスタートし、今学年も残り半分となりました。始業式では、「まずは原っ子運動会をみんなの力で成功させましょう！」と話しました。今回は団結力を高めていくため、１組が赤、２組が白と学級別での組分けとしました。５・６年生の応援係は早くも９月からそれぞれ優勝を目指して練習に頑張っています。その意気込みを赤・白組の団長さんにステージ上から語ってもらいました。子どもたちも団長さんの思いをしっかりと受け取り、自らの行動で表してほしいと願っています。

【赤組団長・６年１組　〇〇〇〇さん】
今日から後期が始まり、運動会の練習も始まります。みんなにとってこの運動会がいい思い出になるようにみんなでがんばりましょう。

【白組団長・６年２組　〇〇〇〇さん】
私は応えん団に入ったので、みんなが「がんばりたい」と思うような応えんができるようにがんばります。みなさんも自分ができることをせいいっぱいがんばってください。

また、担当の先生と子どもによる「生活のめあて」のお知らせや「運動会のスローガン」についての発表もあり、１０月に頑張ってほしいことも確認し合いました。

【１０月の生活のめあて】
友だちとの関係を見直そう（あいさつ）
～友だちに「おはよう」「さようなら」とあいさつをすれば、えがおになれるね～

※どうすれば友達との関係がよくなるか、各学級でめあてを決めて取り組みます。

【運動会の児童会スローガン】
協力　～それいけ原っ子　仲間（みんな）を信じ　全力で～

後期も運動会をはじめ多くの行事や学習の中で、子どもたちが輝く場面が見られるよう指導・支援にあたります。引き続き、保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

これからの半年で子どもたちにつけたい力

【学習づくり】　※授業改善について職員で学び、実践していきます。

〇学習問題（めあて）を捉え、自ら考え、友だちと考えを伝え合いながら、自ら答えを見つけ、表現する力→自己肯定感を高め、自信につなげ、学ぶ意欲を高めるために
- 学習問題（めあて）を自らつかみ、友達と協働して答えを見つけまとめる授業の積み上げと習慣化　※考えることを楽しめる子に！
- 自ら生き生きと活動する場（話す、書く、対話交流、タブレットを活用）の設定
- 学習時間に集中して取り組む意識や態度の向上（学習規律や原っ子モデルの再確認）
- 各学年の学力課題を改善する取組　・追究したことの発信の場の設定（リバティフェスタ等）

【生活づくり】　※子どもの思い・願いに応える指導・支援に一層取り組みます。

〇友達同士進んで関わり合い、認め合い、大切にし合う力→友達とともに伸びることを実感し、学校・学級を安心できる場にするために
- 授業や学校行事、学級活動など子どもたち同士が関わる場の設定と推進
- 生活アンケート（いじめ防止）、教育相談の確実な実施と情報の把握、適切な対応
- 社会性を身に付けるための学習、子ども一人ひとりの学級適応感を把握するアンケートを活用した集団づくりの充実

〇相手の立場に寄り添う力→互いに気持ちのよい関係を築いていくために
- あいさつの習慣化（気持ちのよさを実感）　・相手のよさを知る取組（いいところ見つけ等）
- 言葉についての学習（相手を傷つけないために）　・学級会などによる学級力の向上

【体力づくり】　※体力テストの結果を受けた課題の改善に取り組みます。

〇体力を高め、粘り強く取り組む力→運動の機会を増やし、その成果や努力の跡を実感し、自分の成長につなげるために
- 原っ子運動会、原っ子検定（縄跳び、ドッジボールラリー）、持久走記録会に向けての取組
- 運動が苦手な子も楽しめる体育授業づくり　・みんなで遊ぶ日（外遊び）の設定
- 授業での準備運動（体力テストで課題のあった種目を中心に）、授業内での運動量確保